

## 紛らわしい程の他人の空似は某番組の御墨付きキャラ!?

ある日「生出演の為、休ませて頂きます。総理?」なる貼紙で臨時休業を訴える居酒屋に遭遇! 側には『『い〇とも』そっくりさん』の店と御丁寧に看板まで…。ソーリーと「総理?」は引っ掛け? 空似レベルは如何に? と後日参上すれば、小泉さんと瓜二つのマスターが登場! 思わず写真をねだれば「上着羽織ろか?」「ビデオ観る?」とノリノリ口調も本物ばり! 出演依頼があったら? と聞けば「出るに決まってるやん!」野暮な質問しました、総理!?



お食事処 新町

京都市下京区四条通新町西入ル北側  
075-255-4180 11:30~13:30 17:00~23:00/日休

「お昼休みはウキウキ…」で有名な某番組の司会者タロリをモチエラしたマスター。4月には特番のクイズ問題に出演し、キムタクに一発で「小泉総理のそっくりさん」と答えた際

観光客に写真を強請られる程効果大の看板。出演動向や「小泉ランチ」「純ちゃん定食」等の今後登場?メニューのチェックはこちら

フジテレビ  
笑っていいとも  
スペシャル  
4/8日㈪夜  
復9:00~  
生出演の為  
休ませて頂きま  
さあ、どうぞ!

旨いもん



鰯と鰯のすり身にしょうゆ味で炒めたごぼう、人参、さくらげを混ぜたサツマ揚げ! 枚150円、カラ揚げ100円5個入り200円、コロッケ1個50円、他にマフィンなども

## 今月の オレ 甘かった



サクサク からっ子  
京都市北区烏丸東入ル北側  
00000000  
11:00~19:00 / 土日祝休

毎朝、嵐山から仕込んだネタを持って開店するおばちゃん。このマンションに駐車していた隣で、プレハブ出店にこぎつけたらしい



## プレハブ台所でオカンが作る日本のファーストフード

商店と住宅が混在するローカル通りのある昼下がり、どこからともなく鼻孔をくすぐるいい匂い。発生地点を突き止めようにも、めぼしい商店は皆無。が、あるマンションの前にさしかかった時、突如グルメ探知機の針が最大限に! よく見りや入口の傍らに小型プレハブ。中ではせせせと揚げ物をするおばちゃんを発見! そして気になる匂いの正体は、自家製のカラ揚げ、コロッケ、サツマ揚げのおやつ向け3種。いつも揚げたてのお袋の味に、地元ファン増加中!

## 映画的 映画的 映画的

イラストと文  
ハヤシチサコ

今年のアカデミー賞は「エターナル・マイヤー」へ以降「B・M」が千部明授賞を受けていたが、今は「B・M」が「アカデミー賞」を2本紹介! 題して「映画的映画的映画的」

「映画的映画的映画的」



ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともあり。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。

## 出町柳形商店街編

vol.3

### 古人が目指した京のエントランス 一致団結の商人パワー全開

●樹形商店街協同組合 075-222-0320 (いもや)



このエリアのスーパー三大潮流の2つ、「ゑびす屋」と「デリシャス出町」。前者は野菜がとにかく安く、後者は品揃えにバランスが取れている印象。もう一軒は「ボロロッカ」



取材にご協力いただいた商店街副理事長であり、鮮魚店「さが喜」店主の井上さん。商店街見学の申し込みも受け付中



創業80年の寿しと鰻屋の「樹形屋」の精寿し1人前1000円。今なお若狭直送の鰻や鰯を使っているのは、商店街でココのみ!

## 商店街 ぞろ歩き



樹形屋、山のことを積まれた里美  
やんの威勢のいい呼び込みにトリコにな  
る、普通車物がいっぱいの「井上」



平安京の時代から、都の玄関口の一つだった大原口が今の町界隈。若狭湾で捕れた鰯をスタコラ運んだ鰯街道のゴルでもあるそう。鰯寿司を並べる寿司屋は選び放題。そんな歴史ロマンの地に横たわる樹形商店街は、河原町通りと寺町通りを貫く約150mの横町通りがメイン。生鮮料品・日用雑貨などの小売店やスーパーが同居する約50軒の町並み。そして、いつもの買い物風景が一変。老若男女のイモ洗い状態化すじとその近くの週末の宵は、約30年前の商店街店主たちが発案した必見のお手製お祭り! というのも、アーケード内に登場する巨大七夕幟飾りは、昔から採りに行く入魂の作品なのだ。もちろん、昼間の全店大半出しの大盤振る舞いも忘れない。この團結力は年に一度に限らず、月イチの商店街徹底清掃。2月の大根焚き500人前無料奉仕でも発揮。移り気なお客様を惹きつけるエンターティナーが揃う町衆は、季節の大売り出しや笑顔いっぱいのマップの作成など、とにかく忙しい。それゆえか今も昔も行ったり来たりの人波の引き潮がないみたい。

平安京の時代から、都の玄関口の一つだった大原口が今の町界隈。若狭湾で捕れた鰯をスタコラ運んだ鰯街道のゴルでもあるそう。鰯寿司を並べる寿司屋は選び放題。そんな歴史ロマンの地に横たわる樹形商店街は、河原町通りと寺町通りを貫く約150mの横町通りがメイン。生鮮料品・日用雑貨などの小売店やスーパーが同居する約50軒の町並み。そして、いつもの買い物風景が一変。老若男女のイモ洗い状態化すじとその近くの週末の宵は、約30年前の商店街店主たちが発案した必見のお手製お祭り! というのも、アーケード内に登場する巨大七夕幟飾りは、昔から採りに行く入魂の作品なのだ。もちろん、昼間の全店大半出しの大盤振る舞いも忘れない。この團結力は年に一度に限らず、月イチの商店街徹底清掃。2月の大根焚き500人前無料奉仕でも発揮。移り気なお客様を惹きつけるエンターティナーが揃う町衆は、季節の大売り出しや笑顔いっぱいのマップの作成など、とにかく忙しい。それゆえか今も昔も行ったり来たりの人波の引き潮がないみたい。